

## 芦屋市 大型カルバート点検結果

### 1. 対象施設

芦屋市が管理する下図の大型カルバート3基を対象としています。(令和3年度末時点)

大型カルバート名	岩園隧道	現況写真
延長	61.00m	
建設年次	昭和46年(1971年)	
構造形式	場所打ちボックスカルバート	
路線名	市道422号線	
所在地	岩園町	
大型カルバート名	芦屋川隧道	現況写真
延長	131.50m	
建設年次	平成22年(2010年)	
構造形式	場所打ちボックスカルバート	
路線名	市道779号線	
所在地	松ノ内町	
大型カルバート名	夢中架道橋	現況写真
延長	55.50m	
建設年次	平成10年(1998年)	
構造形式	場所打ちボックスカルバート	
路線名	市道184号線	
所在地	大原町	

図1 芦屋市が管理する大型カルバート

## 2. 点検実施時期

上記対象施設に対し、平成30年度に点検を実施しており、道路法施行規則に基づき「5年に1回の頻度」で近接目視による定期点検を実施していきます。

## 3. 点検手法

「シェッド・大型カルバート等定期点検要領」に準拠し、近接目視による点検を実施しています。

## 4. 健全性の診断

点検結果に基づき、大型カルバートを構成する各部位・部材毎に評価したうえで、大型カルバート毎の健全性を診断しました。判定区分は以下のとおりです。

表1 健全性の診断の判定区分

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

## 5. 点検結果の状況

点検結果は下記のとおりです。

番号	名称	路線名	所在地	構造形式	幅員 (m)	延長 (m)	供用年	経過年 (2021年時点)	健全性
1	岩園隧道	市道422号線	岩園町	場所打ちボックスカルバート	12.1	61.0	1971	50	III
2	芦屋川隧道	市道779号線	松ノ内町	場所打ちボックスカルバート	16.0	131.5	2010	11	II
3	夢中架道橋	市道184号線	大原町	場所打ちボックスカルバート	20.0	55.5	1998	23	II

※重大な損傷があり、直ちに通行止めを必要とする施設はありませんでした。